



「留守宅セキュリティサービス」を
JTBと共同開発し、発売を開始



[旅行中の様々な阻害要因に対応]

CSPは、旅行中の留守宅の安全を守るセキュリティサービスを(株)ジェイティービー(JTB、本社：東京都品川区、佐々木 隆社長)と共同開発し、12月1日から発売を開始しました。

商品名「JTB留守番多助」の当サービスは、留守宅の警備だけでなく、植木への水遣り、換気、郵便物の保管、ペットシッターサービスなどのオプションを用意し、留守中のトータルサポートを行い、「動物、植物の世話が不安で旅行に出かけられない」というお客様の阻害要因を解決します。

利用期間は1週間から可能で、料金も20,100円(税込み)からと合理的です。

[広域展開は業界初の取り組み]

サービスを利用されるお客様は、JTBの支店店頭のご案内パンフレットに付随する申込書に必要事項を記入して、CSP本社ホームサービス営業部内に設置の専用フリーダイヤルに申し込んでいただきます。受信したCSPはお客様と連絡をとり、訪問日時、対応内容、見積提出を行います。契約成立後、お客様からCSPに料金を支払っていただきます。

申込みとお問い合わせの専用フリーダイヤルは(0120-810602)。

対応エリアは当面、北海道、宮城、福島、東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、静岡、愛知、大阪、兵庫、京都、滋賀、岡山、広島、福岡の17都道府県で、順次拡大し全国のJTB支店で取次ぎを行う旅行業界初の取り組みです。

[システムはFGの簡易版]

「JTB留守番多助」のシステムは、CSPのホームセキュリティ「ファミリーガード(FG)」の簡易版です。設置機器は、通報機(1台)、操作機(1台)、防犯センサ(3個)が標準タイプです。設置の際は、通常のFGに多い壁への固定式でなく、壁などにキズを付けない簡易設置タイプにしています。

お客様のご要望により、センサの追加が発生した場合は、別途料金にて対応させていただきます。



通報機



操作機
標準タイプの設置機器



防犯センサ



「JTB 留守番多助」のシンボルマーク